

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 5 月 8 日(2024.5.8)

【公開番号】特開 2023-171297(P2023-171297A)
【公開日】令和 5 年 12 月 1 日(2023.12.1)
【年通号数】公開公報(特許)2023-226
【出願番号】特願 2023-79074(P2023-79074)
【国際特許分類】

G 1 0 D 9/03(2020.01)

10

G 1 0 D 7/10(2006.01)

【F I】

G 1 0 D 9/03

G 1 0 D 7/10

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 4 月 24 日(2024.4.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

内側が円状のカップ部のリム側から円状の孔を有するスロート部に向かって径が次第に小さくなるように形成された楽器のマウスピースであって、
前記カップ部の内側における前記スロート部の前側領域であるカップ内面底面部から前記スロート部の前記孔の内面に亘って、複数の螺旋溝が周設されており、

前記螺旋溝は、

各々が前記スロート部の孔の内面の一方端から他方端に亘って互いに重ならないように長手方向に進みながら周方向に回転させられて周設され、さらに前記他方端と前記カップ内面底面部の前記リム側となる上端との区間に亘って前記カップ内面底面部の径に応じて大きくされて回転が継続されて周設されており、

30

前記一方端又は前記上端から、この上端又は前記一方端に向かうに従って次第に幅及び深さが増加させられた「けがき」であり、前記スロート部の孔の最小径の部分付近と前記他方端の部分付近との間がより幅及び深さが増加させられており、前記カップ部の前記リム側からの視野形状は、

前記スロート部の前記孔を中央にした複数の渦巻形状である、ことを特徴とするマウスピース。

【請求項 2】

40

カップ内面底面部は、

前記リムの内径に対して半分程度の内径となる部分が前記上端であり、前記他方端がカップ内面底部の下端であり、

この下端と前記上端との区間の中央部分とこの上端との区間である小区間が前記カップ内面底面部で、テーパ形状にされており、

前記複数の螺旋溝は、

ボア 部側となる下端付近から前記上端の区間までが螺旋溝区間であり、この螺旋溝区間にわたって、互いの間隔が略等間隔にさせられて、各々が螺旋溝区間を長手方向に進みながら小区間毎に 90 度程度のねじれで回転させられて周設されており、

この螺旋溝区間は、螺旋溝の一方端から他方端までのねじれが 450 度程度となる前記

50

小区間を所定倍した長さである、ことを特徴とするマウスピース。

【請求項 3】

前記小区間を所定倍した長さは、

前記小区間の 5 倍程度の長さであり、

前記小区間は、5 mm 程度である、ことを特徴とする請求項 2 記載のマウスピース。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 4】

本発明に係るマウスピースは、内側が円状のカップ部のリム側から円状の孔を有するスロート部に向かって径が次第に小さくなるように形成された楽器のマウスピースであって

、前記カップ部の内側における前記スロート部の前側領域であるカップ内面底面部から前記スロート部の前記孔の内面に亘って、複数の螺旋溝が周設されており、

前記螺旋溝は、

各々が前記スロート部の孔の内面の一方端から他方端に亘って互いに重ならないように長手方向に進みながら周方向に回転させられて周設され、さらに前記他方端と前記カップ内面底面部の前記リム側となる上端との区間に亘って前記カップ内面底面部の径に応じて大きくされて回転が継続されて周設されており、

前記一方端又は前記上端から、この上端又は前記一方端に向かうに従って次第に幅及び深さが増加させられた「けがき」であり、前記スロート部の孔の最小径の部分付近と前記他方端の部分付近との間がより幅及び深さが増加させられており、前記カップ部の前記リム側からの視野形状は、

前記スロート部の前記孔を中央にした複数の渦巻形状である、ことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 9】

すなわち、螺旋溝 T i (ノッチともいう)は螺旋溝形成部 2 2 の区間で、各々が 1 回転 (3 6 0 度)となるように刻まれている。

例えば、第 1 の螺旋溝 T a は、区間 L a (2 0 mm)において、1 回転 (3 6 0 度： T a '、T a ' ')している。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

10

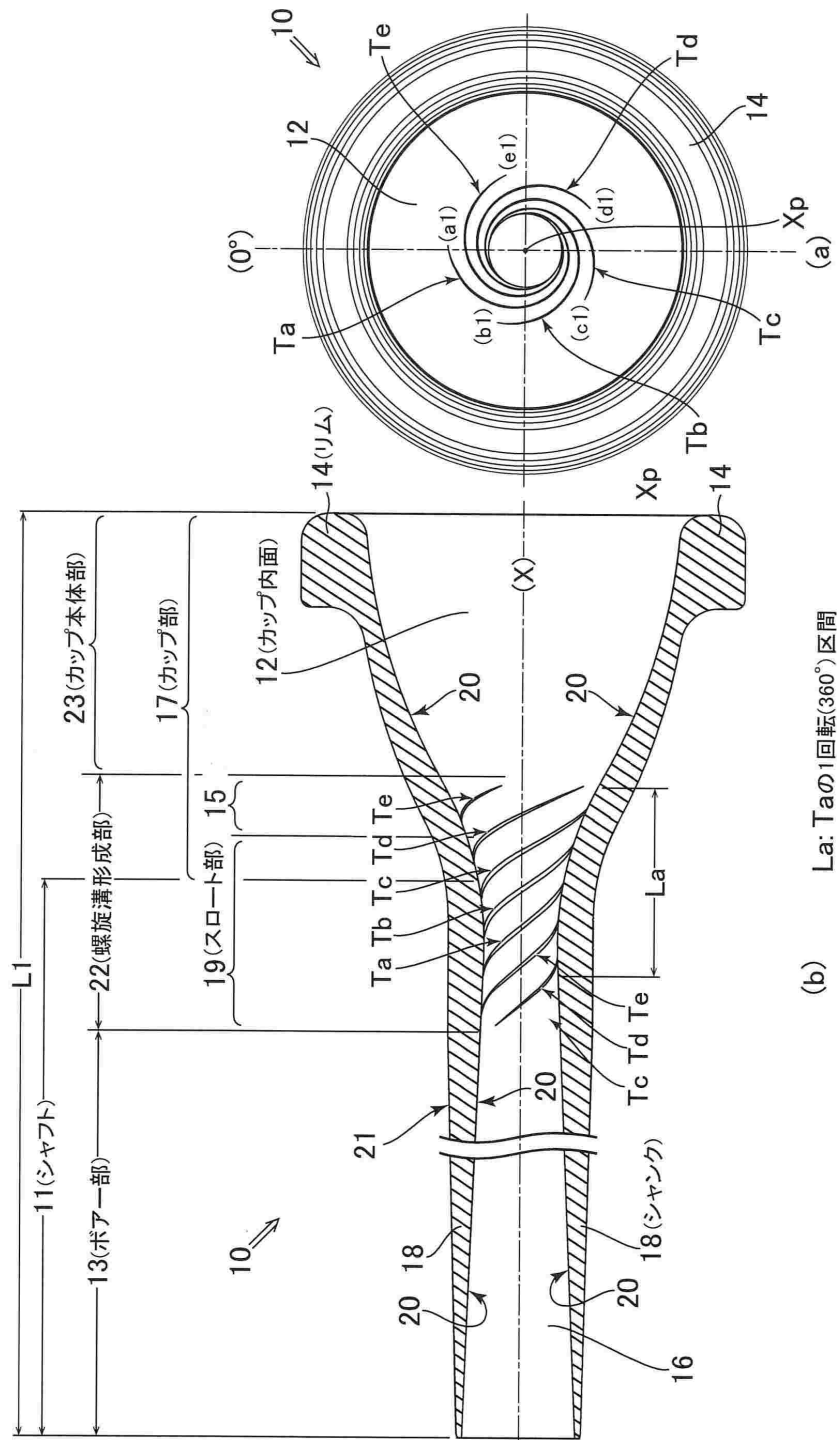
20

30

40

50

【図 1】



10

20

30

40

50